

第6回串間市農業委員会定例総会

日 時 平成29年11月28日(火) 開始9:00 終了10:40

会 場 串間市役所3階大会議室

出席農業委員 13名

1番(会長)	川崎 善昭	7番	武田 建次	11番	島田さつき	15番	原田 俊一
2番(会長代理)	井手 重則	8番	武田 昭一	12番	山崎 昭二		
3番	内田 政秀	9番	谷口 利則	13番	黒木 一則		
6番	奥村千扶子	10番	菊永 宏親	14番	寺迫 邦廣		

欠席農業委員 2名

5番 瀬治山満弘 16番 廣見 安彦

出席推進委員 12名

【福島地区】	黒木 松吾	鈴木 信	川野 昭広	西 正和	牧野 宣英
【大東地区】	野邊 敏郎	堀口 宗幸	森 幸壽		
【本城地区】	中津留 厚	森本 好昭			
【市木地区】	橋口 勝彦	門内 武			

欠席推進委員 3名

【大東地区】清本 良夫 【本城地区】蓑輪 正弘 【都井地区】上村 眞司

議事録署名委員 8番 武田 昭一

15番 原田 俊一

議事日程	第1	報告(合意解約)	農地法第18条第6項の規定による届出について
	第2	議案第30号	農地法第3条の規定による許可申請について
	第3	議案第31号	農地法第4条の規定による許可申請に対する意見について
	第4	議案第32号	農地法第5条の規定による許可申請に対する意見について
	第5	議案第33号	農用地利用集積計画の承認について(所有権移転)
	第6	議案第34号	農用地利用集積計画の承認について(利用権設定)
	第7	議案第35号	農用地利用集積計画の承認について(利用権設定・農地中間管理機構)
	第8	議案第36号	農用地利用配分計画(案)に係る意見聴取について
	第9	追加議案第37号	平成29年台風22号による被害対策に関する建議について

出席事務局	5名	事務局長	吉国 保信	次長	河野 あずさ
		調整係長	酒井 尋	主任技師	古屋 雅史
				主事	川畑 裕

議長（会長）	<p>ただいまから、第6回農業委員会定例総会を開催いたします。本日は5番委員・16番委員、清本良夫推進委員・蓑輪正弘推進委員・上村眞司推進委員より欠席届が提出されていますので、本日の出席委員は農業委員が13名、農地利用最適化推進委員が12名でございます。</p> <p>農業委員会等に関する法律第27条第3項の規定により、過半数以上の農業委員の出席がありますので、総会が成立していることを報告いたします。</p>
議長（会長）	<p>議事録署名委員の指名</p> <p>本総会での議事録署名委員の指名をいたします。</p> <p>議事録署名委員は、8番 武田昭一 委員、15番 原田俊一 委員にお願いします。</p>
議長（会長）	<p>ただちに議案審議に入ります。</p>
議長（会長）	<p>報告：農地法第18条第6項の規定による届出について</p> <p>まず報告、農地法第18条第6項の規定による届出について、事務局より報告させます。</p>
事務局	<p>農地法第18条第6項の規定による合意解約について報告いたします。</p> <p>今回の合意解約は1件でございます。内容といたしましては、農地中間管理事業を活用するため解約するものでございます。お目通しいただきたいと思っております。</p>
議長（会長）	<p>議案第30号：農地法第3条の規定による許可申請について</p> <p>次に議案第30号、農地法第3条の規定による許可申請について、受付番号1番から4番の4件を議題といたしまして審議決定を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第30号、農地法第3条の規定による許可申請は、受付番号1番から4番の所有権移転に関する4件で</p>

事務局

あります。

事務局によります申請書類の審査において、「許可することができない」と定めてあります、農地法第3条第2項各号の不許可の事由につきましては、

「第1号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が行う農業経営に必要な機械の所有状況・労働力・技術面からみて、現在の経営農地と今回の許可申請農地を含めたすべての耕作農地を効率的に利用し、農業経営を行うことができないと認められる場合

「第3号」 今回の許可申請内容が、信託の引受けによる権利の取得であること

「第4号」 権利を取得しようとする受人及びその世帯員等が、現在の経営農地と申請農地すべてで行う農業経営に必要な常時従事がないと認められる場合

「第5号」 権利取得を含めた経営農地が50アールに達しない場合

「第6号」 今回の申請農地を転貸しようとする場合

「第7号」 周辺の地域における農地等の農業上の効率的かつ総合的な利用の確保に支障を生ずるおそれがあると認められる場合

であります。

今回の許可申請受付番号1番から4番の4件につきましては、農地法第3条第2項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆様のご審議をよろしくお願いします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。

まず、受付番号1番の1件について、8番委員より説明をお願いします。

8番委員

議案第30号、農地法第3条の規定による許可申請について、私が調査したのは受付番号1番の所有権移転に関する1件であります。

受付番号1番について、渡人が親戚である受人へ贈与したいため、申請されたものでございます。受人は現職の団体職員であります。農業経営も行っており、申請地に飼料を作付する計画です。主な常時従事は母が行っておりますが、休日は受人も農作業を行い、農業経営を主に受人本人が行っています。受人世帯は毎年80アールの水稻作付と牛2頭を飼養しており、機械保有状況・労働力・技術面からみても問題なく、効率的な農業経営を行っていると考えます。また、受人世帯の農業従事状況については、受人本人が120日以上、妻

8 番委員	<p>が 80 日以上、母が 200 日以上に従事日数があり問題ないと考えます。申請地周辺は宅地と農地が混在するところでもありますので、地域の利用調整の協力や有害鳥獣の被害防止活動に積極的に参加するとともに、農薬を使用する際には、防除基準に従うとのことでもありますので問題ないと考えます。</p> <p>以上、受付番号 1 番の所有権移転に関する 1 件について調査しましたが、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件を満たしており何も問題ないと思います。ご審議方よろしく申し上げます。</p>
議長（会長）	<p>次に受付番号 2 番の 1 件について、11 番委員より説明をお願いします。</p>
11 番委員	<p>議案第 30 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号 2 番の所有権移転に関する 1 件でございます。</p> <p>受付番号 2 番について、渡人は受人の要望により申請農地を売買され、受人は申請地周辺を耕作していることから、規模拡大を図るため申請されたとのこと。受人は申請地に食用甘藷を作付けする計画です。申請地周辺も食用甘藷の作付地帯であるため、農薬の使用方法的違いによる作物への影響はありません。また、農薬の使用は地域の防除基準に従われるそうです。受人世帯においては、食用甘藷を 240 アール作付けしているため、機械保有・労働力・技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていいと考えます。また、農業従事状況については、受人世帯は兼業農家ですが、本人が 150 日以上、母と子供が 60 日以上農業従事日数があり、2 名の常時雇用もいるため問題ないと考えます。</p> <p>以上、受付番号 2 番の所有権移転に関する 1 件について調査いたしましたが、農地法第 3 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件をすべて満たしていることから何も問題ありません。ご審議方よろしく申し上げます。</p>
議長（会長）	<p>次に受付番号 3 番の 1 件について、2 番委員より説明をお願いします。</p>
2 番委員	<p>議案第 30 号、農地法第 3 条の規定による許可申請について、私の担当する区域は受付番号 3 番の所有権移転に関する 1 件でございます。</p> <p>受付番号 3 番について、渡人は非農家で市外在住者であることから管理できないため、受人へ売買を行い、受人は申請農地に食用甘藷を作付けし、規模拡大を図るということでございます。受人は食用甘藷の栽培を行っているため、トラクターやハーベスターなどの機械保有があり、技術面についても問題なく、効率的な農業</p>

2 番委員	<p>経営を行っていけると考えます。周囲は同じく食用甘藷が作付けされているため、農薬の使用方法の違いによる作物への影響はありません。農業従事状況については、本人が300日以上、常時従事があり、また常時雇用が1名いるため何も問題ありません。</p> <p>以上、受付番号3番の所有権移転に関する1件の調査を行いました。農地法第3条第2項各号に該当していないため、許可要件をすべて満たしていることから何も問題ありません。ご審議方よりお願いします。</p>
議長（会長）	<p>次に受付番号4番の1件について、13番委員より説明をお願いします。</p>
13 番委員	<p>議案第30号、農地法第3条の規定による許可申請について、私の担当する区域は受付番号4番の所有権移転に関する1件でございます。</p> <p>受付番号4番について、渡人は非農家のため管理ができないということで、受人へ売買を行う申請です。受人は申請地を長年借受けており、これまでどおり水稻を作付けすることです。受人世帯は約10ヘクタール、水稻及び飼料等の経営があるため、大型機械も多数保有されており、技術面についても問題なく、効率的な農業経営を行っていけると考えます。農業従事については、本人及び妻が300日、子供2名も90日の従事があるため問題ありません。また、申請地周辺は水稻作付地帯であることから、農薬の使用方法の違いによる作物への影響はなく、地域の水路・農道等の維持管理のための共同作業へも、積極的に参加されるということです。何も問題ないと思います。</p> <p>以上、受付番号4番の所有権移転に関する1件の調査を行いました。農地法第3条第2項各号に該当していないため、許可要件をすべて満たしていることから何も問題ありません。ご審議方よりお願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>これより議案第30号、受付番号1番から4番の4件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>（なしの声）</p>
議長（会長）	<p>質疑がないようですので、お諮りいたします。</p> <p>議案第30号、受付番号1番から4番の4件を決定してよろしいでしょうか。</p>

(異議なしの声)

議長 (会長)

異議なしということですので、議案第30号、受付番号1番から4番の4件は、許可することに決定します。

議案第31号：農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見について

議長 (会長)

次に議案第31号、農地法第4条第1項の規定による許可申請に対する意見について、受付番号1番の1件を議題といたしまして、審議決定を行います。

まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第31号、農地法第4条第1項の規定による許可申請は、受付番号1番の1件であります。

農地法第4条第6項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

「4号」 許可申請地を転用することにより、土砂流出・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合

であります。

受付番号1番の1件の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、都市計画法第8条第1項第1号に規定されている、「第二種低層住居専用地域」に該当し、「第3種農地」に区分されますので、農地法第4条第6項1号ロには該当しておりません。

したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号1番の1件につきましては、農地法第4条第6項各号に該当していないため、許可要件のすべてを満たしていると思われます。皆さんのご審議をお願いいたします。

議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまの事務局の説明に対しまして、3番委員より受付番号1番の1件の調査報告、並びに補足説明をお願いします。</p>
3番委員	<p>議案第31号、農地法第4条第1項の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号1番の1件であります。</p> <p>受付番号1番については、昭和54年に申請人の母が個人住宅を建築しましたが、地目変更がなされていなかったことが相続後に発覚したため、今回申請するものです。申請地周辺は住宅地となっており、東側が市道・北側が水路・西側と南側が宅地であるため、周囲に農地も隣接していないことから、影響を及ぼすことはありません。また、生活雑排水は浄化槽を通じて側溝へ排出させ、雨水も自然浸透及びで対応可能など、これまでどおりの使用であるため、周辺に影響を及ぼす恐れはありません。</p> <p>以上、受付番号1番の1件について調査をしましたが、農地法第4条第6項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりでございます。</p> <p>これより議案第31号、受付番号1番の1件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>質疑はないということですので、お諮りいたします。</p> <p>議案第31号、受付番号1番の1件を決定してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>異議なしということでありますので、議案第31号、受付番号1番の1件は許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。</p>
議長（会長）	<p>議案第32号：農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見について</p> <p>次に議案第32号、農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見について、受付番号1番から5</p>

議長（会長）

番の 5 件を議題といたしまして審議決定を行います。
まず、事務局より提案理由の説明を求めます。

事務局

議案第 3 2 号、農地法第 5 条の規定による許可申請は、受付番号 1 番及び受付番号 3 番から 5 番の所有権移転に関する 4 件と、受付番号 2 番の賃借権の設定に関する 1 件、合計 5 件であります。

農地法第 5 条第 2 項「許可することができない」と定めてあります、各号の不許可の事由は、

「1 号イ」 今回の許可申請農地が農用地区域内にある農地である場合

「1 号ロ」 今回の許可申請農地が集団的に存在する農地、その他の良好な営農条件を備えている農地である場合

「2 号」 今回の許可申請農地ではなく、周辺のほかの土地で事業目的を達成することができる場合

「3 号」 許可申請を行うために必要な資金及び信用があると認められない場合や、転用の妨げとなる権利を有する者の同意を得ていない場合、又、申請内容にある目的に転用することが確実と認められない場合

「4 号」 許可申請地を転用することにより、土砂流出・崩壊やその他の災害を発生させるおそれがあると認められた場合や、農業用排水施設の有する機能に支障をおよぼすおそれがあると判断され、その周辺農地の営農条件に支障をきたすおそれがあると認められた場合

であります。

受付番号 1 番と 5 番の 2 件の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、中山間地域等に存在する農業公共投資の対象となっていない、小集団の生産性が低い農地であるため、「第 2 種農地」に区分されることから、農地法第 5 条第 2 項 1 号ロには該当しておりません。

次に、受付番号 2 番から 4 番の 3 件の申請地農地区分は、農用地区域内にある農地ではなく、「農地法の運用について」で制定されております、市街地の区域内又は市街地化の傾向が著しい区域内にある農地であり、受付番号 2 番は都市計画法第 8 条第 1 項第 1 号に規定されている「準住居地域」に該当し、受付番号 3 番と 4 番は同号に規定されている「第二種低層住居専用地域」に該当するため、「第 3 種農地」に区分されることから、農地法第 5 条第 2 項 1 号ロには該当しておりません。

したがいまして、事務局によります申請書類の審査において、今回の許可申請受付番号 1 番から 5 番の 5 件につきましては、許可要件をすべて満たしていると思われまます。皆さんのご審議をお願いいたします。

議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、担当委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。</p> <p>まず、受付番号1番から2番の2件について、6番委員より説明をお願いします。</p>
6番委員	<p>議案第32号、農地法第5条第1項の規定による許可申請について、私の担当は受付番号1番の所有権移転に関する1件と、受付番号2番の賃借権の設定に関する1件、合計2件でございます。</p> <p>まず、受付番号1番について、受人は平成29年1月に5条許可を受け、申請地の西側から北側に係る形状の土地に個人住宅を建築する計画でありました。しかし、その住宅建築用地は道路に接続していないことから、幅員約3.9メートル・長さ約17メートルの進入路を確保した形状の土地でありましたが、住宅建築スペースと駐車場を確保すると、車の出入りを行う回転スペースと来客用駐車場がないことから、今回、申請地を追加分として取得し、駐車場の一部として利用するため申請されています。申請地を確認しましたが、住宅と世帯員2台の駐車場を確保すると、回転スペースが足りないことが確認できましたので、今回の申請は妥当であると思われます。また、申請地の北側と西側は、受人の住宅建築予定用地であります。南側と東側は農地であるため、境界にブロックを積むことで土砂流出を防ぎ、また、雨水は市道側溝へ排出させるため、周辺に影響を及ぼす恐れはありません。</p> <p>次に、受付番号2番については、受人が代表を務める社会福祉法人が、障害者やその家族からの支援相談に応じるため、中心市街地で立地条件のよい申請地を選定し、事務所を建設するとのことです。申請の周辺は市街地であるため農地はありませんが、敷地内の道路に面する箇所へフェンスを設置し、汚水等は下水道へ接続させ、雨水は道路側溝へ排出させるため周囲に影響はなく問題ありません。また、今回の申請は渡人から受人が10年契約で貸借し、受人が運営する社会福祉法人へ貸し付ける申請であります。渡人も契約等を理解されているため問題ありません。</p> <p>以上、受付番号1番から2番の2件について調査しましたが、2件すべてが農地法第5条第2項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから、何も問題ありません。ご審議方よろしくをお願いします。</p>
議長（会長）	<p>次に、受付番号3番から4番の2件について、3番委員より説明をお願いします。</p>
3番委員	<p>議案第32号、農地法第5条第1項の規定による許可申請に対する意見について、私の担当区域は受付番号3番と4番の所有権移転に関する2件でございます。</p> <p>まず、受付番号3番につきましては、受人と渡人は姉妹であり、申請地は議案第31号、農地法第4条の受付番号1番で審議した個人住宅の追認申請に隣接し、現在も宅地の一部として利用されていますが、地目及び名義変更がなされていないため申請するものです。申請地は住宅敷地内の一部であり、申請地を含む敷地にはすでにブロック積みが行われているため、土砂流出の恐れはなく、周辺地域への影響がありません。また、</p>

3 番委員

雨水はこれまでどおり自然浸透で対応できるため、問題ありません。

次に、受付番号 4 番につきましては、申請地は受人が所有する住宅への通路の一部として利用されていますが、地目及び名義は変更されていなかったため申請するものです。申請地はすでに道路として舗装されており、周囲へ土砂流出することはないため問題ありません。また、雨水もこれまでどおり東側に隣接する水路へ流れるため問題ありません。

以上、受付番号 3 番と 4 番の 2 件について調査しましたが、2 件すべてが農地法第 5 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから何も問題ないと思われまます。皆さんのご審議をお願いします。

議長（会長）

次に受付番号 5 番の 1 件について、9 番委員より説明をお願いします。

9 番委員

議案第 3 2 号、農地法第 5 条第 1 項の規定による許可申請について、私の担当区域は受付番号 5 番の所有権移転に関する 1 件でございます。

受付番号 5 番につきまして、渡人は非農家にて管理できないため譲受法人へ売買し、譲受法人は申請地の近隣に保有する山林と一緒に、製材用丸太やバイオマス発電用丸太等の増産を行うため、定期的に下刈り・枝打ち・間伐等を行い、山林として管理していくとのことです。なお、申請地は国道から東に位置し、申請地周辺は山林化しているため、雨水はこれまでどおり自然浸透で対応可能であることから、土砂流出・崩壊などの災害発生への恐れは考えられないため、問題ありません。

以上、受付番号 5 番の 1 件の調査を行いました、農地法第 5 条第 2 項各号に該当していないため、許可要件を満たしていることから問題ないと思われまます。皆さんのご審議をお願いします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりでございます。

これより議案第 3 2 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件について質疑に入ります。質疑はありませんか。

（ なしの声 ）

議長（会長）

質疑はないということですので、それではお諮りいたします。

議案第 3 2 号、受付番号 1 番から 5 番の 5 件を決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

議長（会長）	異議なしということですので、議案第３２号、受付番号１番から５番の５件は許可相当とし、意見を付して県へ進達いたします。
議長（会長）	<p>農用地利用集積計画の承認に伴う市長部局提案</p> <p>次に、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認についてありますが、審議に入ります前に、あらかじめ市からの提出議案の面積・件数等を事務局より説明させます。</p>
事務局	<p>平成２９年１１月分につきましては、串間市長より平成２９年１１月１７日付で、農業経営基盤強化促進法第１８条第１項の規定による農用地利用集積計画の承認が求められております。</p> <p>内容につきましては、議案第３３号・所有権移転が１件・面積３９６㎡、議案第３４号・利用権設定が１件・面積が６１４㎡、議案第３５号・利用権設定・農地中間管理機構分が４件・面積が１４，９４７㎡でございます。</p>
議長（会長）	それでは、ただいまから市からの提案について審議に入ります。
議長（会長）	<p>議案第３３号：農用地利用集積計画の承認について 所有権移転分</p> <p>議案第３３号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、受付番号１番の１件を議題といたしまして審議を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第３３号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分の受付番号１番の１件を説明いたします。</p> <p>「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項、第１号）今回の農用地利用集積計画の内容が「地域の農業構造の現状及びその見通しのもとに、地域農業を担う効率的かつ安定的な農業経営体の育成とともに、意欲と能力のある者が農業経営の発展を目指すにあたってこれを支援する農業経営基盤強化促進事業その他の措置を総合的に実施する。」とある串間市の基本構想に適合するものであること</p> <p>第２号イ）耕作又は養畜の事業に供すべき農用地のすべてを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行う</p>

事務局	と認められること 第２号ロ）耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること であり、事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番の１件については、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件のすべてを満たしていると思われます。皆さんのご審議をお願いします。
議長（会長）	説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、６番委員より受付番号１番の１件について、調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。
６番委員	議案第３３号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、所有権移転分、私の担当区域は受付番号１番の１件です。 受付番号１番の１件については、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、受人及び世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて問題なく、効率的な農業経営を行えること、また、農業経営に必要な常時従事があることなどの該当要件をすべて満たしているため、何も問題ありません。ご審議のほどをよろしくをお願いします。
議長（会長）	説明はお聞きのとおりであります。 これより議案第３３号、受付番号１番の１件について質疑に入ります。質疑はありますか。
	（なしの声）
議長（会長）	それではお諮りいたします。 議案第３３号、受付番号１番の１件を承認してよろしいでしょうか。
	（異議なしの声）
議長（会長）	異議なしということでありますので、議案第３３号、受付番号１番の１件を承認し、市へ通知します。
議長（会長）	議案第３４号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定分 次に議案第３４号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分、

議長（会長）	<p>受付番号１番の１件を議題といたしまして審議を行います。 まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第３４号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分は受付番号１番の１件であります。</p> <p>事務局によります申請書類の審査において、受付番号１番の１件は、先ほど議案第３３号で説明いたしました「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号の該当要件をすべて満たしていると思われます。皆様のご審議をお願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。ただいまの説明に対しまして、１３番委員より受付番号１番の１件の調査結果の報告、並びに補足の説明をお願いします。</p>
１３番委員	<p>議案第３４号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定分、私の担当区域である受付番号１番の１件について報告します。</p> <p>受付番号１番について、受人は畜産業を営んでおり、受人及びその世帯員が行う農業経営に必要な機械保有状況・労働力・技術面からみて問題なく、効率的な農業経営を行えること、十分な農業常時従事があることなどの該当要件をすべて満たしております。また、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であります。</p> <p>以上のことから、受付番号１番の１件は該当要件をすべて満たしているため何も問題ありません。ご審議方お願いします。</p>
議長（会長）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまから議案第３４号、受付番号１番の１件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>（ なしの声 ）</p>
議長（会長）	<p>質疑がないとのことでありますので、それではお諮りいたします。</p> <p>議案第３４号、受付番号１番の１件を承認してよろしいでしょうか。</p> <p>（ 異議なしの声 ）</p>

議長（会長）	異議なしということですので、議案第３４号、受付番号１番の１件を承認し、市へ通知します。
議長（会長）	<p>議案第３５号：農用地利用集積計画の承認について 利用権設定・農地中間管理機構分</p> <p>次に議案第３５号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定・農地中間管理機構分ではありますが、審議に入ります前に、当該議案に私に関する事案がありますので、農業委員会等に関する法律第３１条「議事参与の制限」により、当該議案の開始から終了まで退室し、議長を会長代理に交代します。</p> <p>暫時休憩します。</p> <p>（ １番委員 退室 ）</p>
議長（会長代理）	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>ただいま、会長が退室されましたので議長を交代いたします。</p> <p>それでは、議案第３５号は受付番号１番から４番の４件ではありますが、先に受付番号４番の１件を議題といたしまして、審議を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第３５号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、農地中間管理機構分は千野地区の受付番号１番から４番の４件ではありますが、先に受付番号４番の１件について説明いたします。</p> <p>「農用地利用集積計画承認の該当要件」につきましては、先ほど議案第３３号で説明しました、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号のとおりでございますが、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項第２号のただし書きにより、農地中間管理機構が農地中間管理事業の実施によって利用権設定を受ける場合には、同法第１８条第３項第２号イとロにあります「農用地の全てを効率的に利用し、農作業に常時従事することが認められること」の要件に該当しなくても良いとされていることから、すべてを満たしていると思われまふ。皆さんのご審議をお願いいたします。</p>
議長（会長代理）	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまの説明に対しまして、受付番号４番の１件について、１２番委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。</p>

1 2 番委員	<p>議案第 3 3 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定の農地中間管理機構分、私の担当区域の受付番号 4 番の 1 件について報告します。</p> <p>受付番号 4 番の 1 件において、「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であります。また、宮崎県農地中間管理機構が借受け、地域の担い手などに再配分することで、面的集積などに取組む事業でございますが、所有者に確認したところ、貸借期間・小作料の有無・貸借先等に関する貸借契約に間違いがないとのことであります。</p> <p>以上、受付番号 1 番の 1 件を調査しましたが、許可要件を満たしているため何も問題ありません。ご審議をお願いします。</p>
議長(会長代理)	<p>説明はお聞きのとおりでございます。</p> <p>これより議案第 3 5 号、受付番号 4 番の 1 件について質疑に入ります。質疑はありませんか。</p> <p>(なしの声)</p>
議長(会長代理)	<p>それではお諮りいたします。</p> <p>議案第 3 5 号、受付番号 4 番の 1 件を承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議長(会長代理)	<p>異議なしということでありますので、議案第 3 5 号、受付番号 4 番の 1 件を承認し、市へ通知します。</p> <p>暫時休憩します。</p> <p>(1 番委員 入室)</p>
議長(会長代理)	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>それでは議案第 3 5 号、先に審議しました受付番号 4 番の 1 件を除く、受付番号 1 番から 3 番の 3 件を議題といたしまして審議を行います。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>議案第 3 5 号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定、農地中間管理機構分は千野地区の受付番号 1 番から 4 番の 4 件であります。先に説明しました受付番号 4 番を除</p>

事務局	<p>く、受付番号１番から３番の３件について説明いたします。</p> <p>「農用地利用集積計画承認の該当要件」等につきましては、先ほど受付番号４番で説明しました、農業経営基盤強化促進法第１８条第３項各号のとおりであります。受付番号１番から３番の３件は、許可要件を満たしていると思われます。皆さんのご審議をお願いいたします。</p>
議長(会長代理)	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>それでは、受付番号１番から３番の３件について、１番委員より調査結果の報告並びに補足の説明をお願いします。</p>
１番委員	<p>議案第３３号、農業経営基盤強化促進法に基づく農用地利用集積計画の承認について、利用権設定の農地中間管理機構分、私の担当区域の受付番号１番から３番の３件について報告します。</p> <p>今回の３件は「農用地利用集積計画承認の該当要件」であります計画が、串間市の基本構想に適合した申請内容であること、所有者に確認したところ、貸借期間・小作料の有無・貸借先等に関する貸借契約に間違いがないとのことであります。</p> <p>以上、受付番号１番から３番の３件を調査しましたが、許可要件を満たしているため何も問題ありません。ご審議方お願いします。</p>
議長(会長代理)	<p>説明はお聞きのとおりであります。</p> <p>ただいまから議案第３５号、受付番号１番から３番の３件について質疑に入ります。質疑はありますか。</p> <p>(なしの声)</p>
議長(会長代理)	<p>それではお諮りいたします。</p> <p>議案第３５号、農地中間管理機構分、受付番号１番から３番の３件を承認してよろしいでしょうか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
議長(会長代理)	<p>異議なしということですので、議案第３５号、受付番号１番から３番の３件を承認し、市へ通知します。</p> <p>暫時休憩します。</p>

(農業振興課 農政企画係長 入室)

議案第 3 6 号：農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について

議長（会長）

休憩前に引き続き会議を開くとともに、議長を交代します。
それでは議案第 3 6 号、農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について議題といたします。
まず、農業振興課からの説明を求めます。

農業振興課
農政企画係長

議案第 3 6 号、農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取ということで、千野地区農用地利用配分計画（案）をご説明させていただきます。

昨年、千野地区農用地利用改善団体では、農地中間管理事業に積極的に取り組んでおられ、中千野地区を中心とした地域面積 5, 6 8 6 アールのうち、集積面積 3, 7 7 1 アール、集積率 6 6. 3 % となっています。そういった中で、平成 2 9 年に大規模な早期水稻経営を行っていた農業者が亡くなったことや、平成 2 9 年産米の品質低下の影響から、地域の改善団体の役員を中心に作付のブロック化や農地の集約化に取り組まれたところです。

そういった中で今回、計画案ということで 8 筆、合計約 1. 5 ヘクタールの新規集積を行うということで、議案を提出したところでございます。今回の 8 筆はすべて、これまで水稻を作付けされていた農業者がリタイアされるということで、中心経営体である貸付者へお願いするということになっています。

また、来月の 1 2 月についても、千野地区分の新規集積や再配分ということで約 3 0 筆・合計 5 ヘクタール程度の集約についての計画案を提出する予定ですので、そちらについてもお願いしたいと考えています。

今回の議案提出の新規集積の 8 筆のご審議をお願いします。

議長（会長）

説明はお聞きのとおりでございます。それでは、ただいまから農業振興課の説明に対し質疑に入ります。質疑はございませんか。

(なしの声)

議長（会長）

ないようですので、担当課の退室を求めます。

また、当該議案の審議につきまして、私に関する推薦団体の事案がありますので、農業委員会等に関する法律第 3 1 条「議事参与の制限」により、当該議案の開始から終了まで退室し、議長を会長代理に交代します。
暫時休憩します。

	<p>(1 番委員 退室)</p> <p>(農業振興課 農政企画係長 退室)</p>
議長(会長代理)	<p>休憩前に引き続き会議を開きます。</p> <p>ただいま、会長が退室されましたので議長を交代します。</p> <p>それでは、ただいまの説明に対しまして、委員の皆さんより意見を求めたいと思いますが、まず、「千野地区農用地利用配分計画（案）」について、本城地区会長であります 1 2 番委員に意見を求めたいと思います。</p>
1 2 番委員	<p>今回の千野地区農用地利用配分計画（案）が本城地区管内の取組でありますので、意見を述べさせていただきます。</p> <p>「千野地区農用地利用配分計画（案）」につきましては、計画にある貸借権の設定を受ける者が、農地中間管理事業の推進に関する法律第 1 8 条第 4 項第 3 号</p> <p>イ：耕作又は養畜の事業に供すべき農用地の全てを効率的に利用して耕作又は養畜の事業を行うと認められること</p> <p>ロ：耕作又は養畜の事業に必要な農作業に常時従事すると認められること</p> <p>に該当しているか、担当地区委員の意見を聞き取り、本城地区委員会で協議してまいりましたが、今回の「千野地区農用地利用配分計画（案）」は該当しているため、問題ないと思われます。以上、報告します。</p>
議長(会長代理)	<p>ただいま 1 2 番委員から出された意見は、農用地利用配分計画（案）にある借受者が、農地中間管理事業の推進に関する法律第 1 8 条第 4 項第 3 号に該当しているため、問題ないとの意見でありました。</p> <p>他に意見はありませんか。</p> <p>(なしの声)</p>
議長(会長代理)	<p>それではお諮りいたします。</p> <p>議案第 3 6 号、農用地利用配分計画（案）に係る意見聴取について、「千野地区農用地利用配分計画（案）」は、1 2 番委員から出された意見を付して、妥当であると市へ通知することに異議はありませんか。</p> <p>(異議なしの声)</p>

議長(会長代理)	<p>異議なしということですので、議案第３６号、「千野地区農用地利用計画（案）」は出された意見を付して、農用地利用配分計画が妥当であることを市へ通知します。</p> <p>暫時休憩します</p> <p>（ １ 番委員 入室 ）</p> <p>（ 追加議案資料配布 ）</p>
議長（会長）	<p>休憩前に引き続き会議を開くとともに、会長代理より議長を交代します。</p>
議長（会長）	<p>追加議案第３７号：平成２９年台風２２号による被害対策に関する建議について</p> <p>ただいま、配布されました追加議案第３７号、平成２９年台風２２号による被害対策に関する建議について議題といたします。</p> <p>まず、事務局より提案理由の説明を求めます。</p>
事務局	<p>それでは、ただいまお配りいたしました追加議案第３７号、平成２９年台風２２号による被害対策に関する建議についてご説明します。</p> <p>今回の提案理由につきましては、平成２９年１０月２９日に襲来しました、台風２２号の大雨による河川越水等の影響によりまして、農作物及び農地への甚大な被害に対して、今後の農業経営や農地復旧への影響が懸念されることから、建議書を申間市長へ提出するため提案するものでございます。</p> <p>それでは、建議内容についてご説明する前に、農業委員会が行う建議活動等について説明をさせていただきますと思います。</p> <p>まず、改正前農業委員会等に関する法律では、農業委員会の所掌事務として第６条第３項に任意業務として、意見の公表・建議の実施というものが条文化されていまして。こちらの内容については、「農業及び農民に関する事項について、意見を公表し、他の行政庁に建議し、又はその諮問に応じて答申することができる」とされていたところでございます。そもそもこの内容が条文化されていた理由につきましては、「農業者や地域農業の立場に立ち、その進むべき方法とこれを現実化するため政策のあり方を明らかにしていくことは、農業・農村の声を代表するものとして農業委員会が行う重要な業務」という位置づけがあったためでございます。</p> <p>しかしこの条文は、平成２８年に改正された農業委員会等に関する法律では、「そもそも建議という行為は、法的根拠がなくても行える」という結論から削除されましたが、新たに同法第３８条として、農地等の利用の</p>

最適化の業務である「遊休農地の解消・担い手への農地集積・新規参入の促進」に対する活動の是正が必要な場合には、具体的な意見を提出しなければならないとして義務化されたところでございます。施策に関する意見といたしまして、「最適化業務」を行うための内容であれば、当然提出することができますので、今回、この建議書を提出することを提案するものでございます。

また、補足ではありますが、施策に関する意見書は毎年提出することが義務化されていますので、平成29年度から毎年1回は提出することになります。この意見書の提出時期につきましては、本年度は7月に新体制へ移行したばかりですので、来年2月に提出する予定であります。来年度以降につきましては、串間市が当初予算を作成する段階で、この意見書を含めた対策・予算計上などの対応を行っていただきたいと考えていますので、11月提出を検討しているところです。

それでは建議の内容についてご説明いたします。

まず、今回の台風による被害等についてですが、農作物及び農地へ甚大な被害が出たところでございます。農作物に関する被害につきましては、11月20日の夕方に報告された実績では、被害面積が28.4ヘクタールでございます。また、その当時の被害状況ということで、河川が氾濫し農地へ越水した状況や、被害にあった農作物としてごぼうやハウス等の状況写真を提示しておりますので、お目通しいただきたいと思います。

次に、耕地災害に関する被害についてですが、今回の被害につきましては、農地・農道・農業用施設を含めまして、103カ所の被害が確認されたところです。その中で、今回、国の耕地災害復旧事業の申請を行うものが21カ所、市単独の事業申請分が51件となっているところでございます。一部、農道及び法面崩壊、特に被害の大きかった河川越水により、農地へ土砂流失した写真を付けていますのでご確認下さい。

これらを含めまして、今回、皆さんに配布しています建議書案を串間市長へ提出するため、提案するものでございます。

次に、平成29年台風22号による被害対策に関する建議書案の内容についてご説明します。

今回の建議書案につきましては、台風22号の影響は凄まじく、農作物や農地に甚大な被害を及ぼしたということで、今後の農業経営や農地復旧への影響が懸念されるということで、第6回農業委員会定例総会において協議の結果、建議を行うものである、ということで市長へ提出する予定でございます。内容といたしましては、今後、農業委員会として農地等の利用の最適化業務の活動に影響を及ぼす恐れがあるということで、2項目を作成いたしました。

まず、一つ目として「経営安定並びに産地維持に関する対策について」ということで、一部の農作物は出荷不能や植替等による農業者負担が強いられている状況でありますので、今後の生産維持及び経営安定を図るためにも、補助事業など利用しやすい独自の支援措置、経営支援体制の整備などの支援・強化を図っていただきたいという内容としています。

二つ目が「被災農地の復旧について」項目化しております。こちらにつきましては、当然農地復旧を行う際には個人負担が伴います。その個人負担額によっては、復旧したくても負担金が高額なため復旧を断念するこ

事務局

とも想定されます。また、復旧に至らなかった場合には、耕作不便などの理由により周辺農地も遊休化していくことも想定されます。農地は農業経営の生産基盤であるため、経営縮小や離農へと繋がることも想定されることから、農業者が安心して耕作を再開できるよう、整備支援及び対策強化を図っていただきたいということで、この２項目を建議するためご提案いたします。

ただ、今回の台風の被害については、市に迅速な対応・対策を行っていただきたいと思っていますので、１１月総会で台風対策に特化した内容を提案させていただいたところでございます。

また、本総会でご承認いただいた場合には、会長及び会長代理から建議書を提出していただきたいと考えていますので、皆さんのご審議をお願いします。

議長（会長）

ただいま追加議案について、事務局から説明がありましたが、何か意見があれば出していただきたいと思います。

これまでの建議活動については、平成１９年に日南串間地区農業委員会連絡協議会で、両市長及び県へ建議活動を行いました。それ以降行っていなかったということです。

しかし今回は、高畑山での雨量が５５３ミリということで、本城地区と市木地区に被害が多かったということとありますが、特に農地復旧が困難だろうということで、今回建議を行ってはどうかということで、追加議案として提案しました。建議を行うかどうかも含めて、意見があれば出していただきたいと思います。

（ 意見なし ）

議長（会長）

それでは意見もないようですので、農業委員会は農業者の代表ということで、今回の建議は少しでも農業者の負担軽減を図るための活動としてご理解いただいたと思いますので、お諮りいたしますが、議案第３７号、平成２９年台風２２号による被害対策に関する建議について、市長へ建議を行うことを決定してよろしいでしょうか。

（ 異議なしの声 ）

議長（会長）

異議なしということでありますので、建議を行うことを決定し、先ほど事務局から話がありましたように、本日午後１時より私と会長代理とともに市長へ建議を行いたいと思います。

議長（会長）

以上で議案審議は全部終了しました。
慎重・審議、誠にありがとうございました。

議長（会長）

以上を持ちまして、第6回農業委員会定例総会のすべてを終了いたします。
次の総会は、12月27日（水曜日）に開催いたします。よろしくお願いいたします。

平成 2 9 年 1 1 月 2 8 日

1 番 (会長)

2 番 (会長代理)

議事録署名委員

8 番

1 5 番